

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第283号(平成21年5月13日発行)

=====
(RPPC 活動予定表)

5/14 第14回幹事会

10:30～ 国土交通省第2会議室A

5/20 第13回運営委員会

14:00～ 九段会館 孔雀の間

5/27 調査・研究部会 汚染土壌事業化分科会

15:00～ バーク芝浦 会議室
=====

(RPPC からのお知らせ)

リサイクルポート推進協議会 総会決まる

平成21年度の「リサイクルポート推進協議会 総会」を6月4日(木)開催します。
また、今年は総会の前後に、協議会活動の成果を報告する「RPPC TOPICS」と、
会員相互の情報交換を目的とした「会員交流会」を開催します。こちらの方も併せ
てご案内申し上げます。会員皆様のご出席を宜しくお願いします。詳細は添付資料
をご確認下さい。

【 総 会 】

開催日時:平成21年6月4日(木)16:00～17:00

場 所:九段会館 3階「真珠の間」

[RPPC TOPICS] (総会開催前)

開催時間:14:30～15:45 (場所:総会と同一会場)

成果報告: 「リサイクルポート実証実験報告」

「静脈物流用特殊コンテナ&前処理設備事例紹介」

【会員懇親会】(総会終了後)

開催時間:17:00～

場 所:九段会館 2階「鳳凰の間」

参 加 費:3,000円/人

總會のご出欠につきまして、返信ハガキをまだご送付頂いていない
ご団体は、お手数ですがご出欠もしくは委任についてご記入頂き
投函頂きますようお願い申し上げます。

民生業務施設等における CO2 削減の可能性検討シンポジウムのご案内
～ エネルギーシステムの評価研究の成果事例～

記

開催日：平成21年5月29日(金) 午後1時30分～午後5時20分
(17.45～19.30 懇親パーティー 大隈会館1階 楠亭(ナンテイ))
添付の「会場案内図」をご参照ください

会場：早稲田大学 早稲田キャンパス 小野記念講堂
(添付の「ご案内」をご参照ください)

主催：早稲田大学環境総合研究センター

共催：株式会社早稲田環境研究所
株式会社E.I.エンジニアリング
NPO 法人循環型経済社会推進機構
早稲田大学循環型環境経済共創システム研究所

趣旨：(添付の「ご案内」をご参照ください)

定員：200名、申込み先着順により定員になり次第締め切ります。

セミナー参加費：無料

懇親パーティー参加費：一般：¥3000 学生：¥1000

申込方法：添付の「参加申込書」により5月15日(金)までに
E-mailまたはFAXにてお申し込み下さい。

申込先：E-mail:info@e-wei.co.jp FAX:03-5272-6326
{担当 福島真弓 TEL:03-5272-6326}

=====

(リサイクルポートに関連する最新の情報)

- 1.平成21年度第1回重要港湾管理者等主幹課長会議を開催
- 2.港湾局関係緊急経済対策、平成21年度補正予算に国費2030億円
- 3.航空局、平成21年度補正予算に国費334億円を計上

=====
(リサイクルポートに関連する最新の情報)

1. 平成 21 年度第 1 回重要港湾管理者等主幹課長会議を開催

平成 21 年度第 1 回重要港湾管理者等主幹課長会議が 4 月 28 日、国土交通省で開催された。全国の重要港湾管理者主幹課長、ならびに各地方整備局港湾事務所長らが出席する中、平成 22 年度概算要求に向けた取組方針や最近の港湾動向について国交省港湾局が概要説明を行い、意見を交換した。

会議では冒頭、須野原国土交通省港湾局長が、「港湾関係予算は、ここ 3 年連続でシェアの拡大をみている。港湾分野への要請は高まってきており、22 年度以降もこの動きを加速・維持していきたい。具体的な施策では、コンテナ物流システムの構築、港整備交付金の更なる活用、旅客船ターミナルの補助制度の活用、

安全・防災面として津波高潮対策緊急事業を通じた取組の更なる強化」、などを挙げた。また臨海部への企業立地は、景気の落ち込みから少し鈍化する動きになっているが、臨海部は港湾物流を含めたトータル的な視点から引き続き注目されており、利用者サイドに立った形での取組を進めてほしい、などと述べて 22 年度概算要求に向けた国の方針を示した。

【港湾空港タイムス】
.....

2. 港湾局関係緊急経済対策、平成 21 年度補正予算に国費 2030 億円

国土交通省港湾局は緊急経済対策としての平成 21 年度補正予算に国費、2030 億円、事業費にして約 3000 億円を国会の補正予算審議に上げた。同予算の内訳は 21 世紀型インフラの整備として、船舶の大型化に対応した産業港湾の刷新に 880 億円、スーパー中枢港湾の機能強化に 880 億円、低炭素革命として、低酸素・物流インフラの革新(船舶への陸電供給)に 10 億円、安心・安全の確保として、基幹的防災拠点や耐震強化岸壁の整備等に 100 億円、洪水・高潮等の防災・災害対策に 160 億円、等となっている。

【港湾空港タイムス】
.....

3. 航空局、平成 21 年度補正予算に国費 334 億円を計上

航空局は平成 21 年度補正予算として国費 334 億円(事業費 347 億円)を積み上げた。内訳は羽田空港関係に約 52 億円、その他は一般空港の老朽化対策や耐震改良、無線

施設整備などで、新石垣空港の滑走路整備に係る前倒し予算も盛り込んでいる。

羽田空港関係費は、同空港の国際化や機能向上に資するための事業で、約50億円をC滑走路の南伸整備に充てる。また現在整備中のD滑走路は、供用後約10年程度で同空港の需要を賄えきれないとの見通しから、将来の更なる需要を睨み、第5滑走路の可能性について検討を始める。

このうち滑走路延伸事業は現在3000mのC滑走路を3360m滑走路長とする。ヨーロッパ等を結ぶ長距離路線の就航に対して、都市域への騒音を抑制する必要から実施する。同延伸には地盤改良工事を中心に、総額で約300億円を要すると見ており、21年度補正予算ではこのうちの約52億円分を積むことにした。工期は約5年を予定しており、次年度以降は通常予算を充当していく見込み。

また羽田第5滑走路の検討は、中期的な視点から羽田の需要動向を睨みつつその可能性を探る。羽田空港の周辺海域は東京港航路をはじめ、小型船舶航行など高密度に利用されており、同条件の中で新たな滑走路増設について検討を行う。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者:RPPC広報部会

部長:本野 晃郎 パシフィックコンサルタンツ(株)

部会員:藤原 敏光 五洋建設(株)

門脇 直哉 新日本製鐵(株)

座間味 康喜 東京都

リサイクルポート推進協議会事務局

(財団法人 港湾空間高度化環境研究センター内)

担当:首藤、新谷、大田

URL:www.rppc.jp E-mail:rppc@wave.or.jp

会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####